

一般社団法人 日本臨床スポーツ医学会

2024 年度第 1 回理事会議事録

開催日時： 2025 年 5 月 17 日（土） 15：00 より 17：00

開催場所： ステーションコンファレンス東京 「402CD」会議室
（東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー）

出席理事（五十音順）：

赤間 高雄 大森 豪 荻野 雅宏 小熊 祐子 高橋 敏明
武田 友孝 帖佐 悦男 津下 一代 津田 英一 土屋 明弘
土肥美智子 鳥居 俊 中川 泰彰 中嶋 耕平 馬場 礼三
藤谷 博人 細井 雅之 牧田 茂 松田 貴雄 山澤 文裕
山下 敏彦

出席監事： 小松 裕

議事録作成者： 山澤 文裕

議長： 赤間 高雄

審議に先立ち、初代理事長の黒田善雄先生が先日ご逝去されたことに対し、哀悼の意を表すべく黙祷を行った。続いて、理事長（代表理事）山澤 文裕が開会について挨拶した。
議案及び決議事項は以下のとおりである。

議事の経過の要領及びその結果

（１）議長選任

理事長（代表理事）山澤 文裕は、開会に当たり、議長として理事 赤間 高雄を指名したところ、同人は直ちに議長就任を承諾した。

（２）定足数の確認

議長は本日の出席が理事 21 名であり、理事総数 23 名中 21 名の出席を得て、定款 35 条第 1 項の「理事の過半数が出席」していることにより理事会が有効に成立したことを報告した。

理事長（代表理事）山澤 文裕および副理事長（業務執行理事）赤間 高雄が 2024 年 11 月 15 日から 2025 年 5 月 17 日までの職務執行状況報告を行った。

(3) 議案の審議状況及び議決結果等

審議事項

第1号議案 2024年度理事選挙について

議長は、理事選挙についてスケジュールおよびそれに関する定款や規則について確認した。選挙管理委員会について、理事長の推薦した牧田茂委員長および選任した構成委員が満場異議なく承認された。理事会終了後開催の選挙管理委員会にて詳細を決定することとする。

第2号議案 名誉会員候補について

議長は、理事長が推薦した、土屋 明弘先生、中川 泰彰先生、馬場 礼三先生、山澤 文裕先生について承認を求めたところ、満場異議なく承認された。定時総会にて承認頂くこととする。

第3号議案 理事数 定款変更について

議長は、理事長から提案があった、男女共同参画及びダイバーシティの推進により、理事数を23名以上28名以内とすることについて承認を求めたところ、満場異議なく可決された。11月の定時総会にて定款変更の承認をいただくこととする。承認された場合、次回2027年の理事選挙より適用される。今後は男性21人、女性7人を目標としていくことも承認された。

第4号議案 第39回学術集会会長について

議長は、第39回学術集会会長の選出について意見を求めたところ、理事 津田 英一が推挙され、同人の意思を確認し同意を得た。ついで、議長が本議案の承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。議長の指名により理事 津田 英一は挨拶した。

第5号議案 日本スポーツ医学財団からの国際交流活動に対する助成金について

議長は、日本スポーツ医学財団からの、日本臨床スポーツ医学会と韓国スポーツ医学会との臨床スポーツ医学に関する交流事業の実施に対する事業経費の一部を、日本スポーツ医学財団にて分担助成する提案について承認を求めたところ、覚書の内容と共に満場異議なく承認可決した。日本スポーツ医学財団と覚書を交わすこととする。

第6号議案 日本臨床スポーツ医学会・日本アスレティックトレーニング学会 学術連携協定について

議長は、日本アスレティックトレーニング学会からの、日本臨床スポーツ医学会との学術活動における相互の連携および協力に関する協定を結ぶ提案について承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。日本アスレティックトレーニング学会と協定書を交わ

すこととする。

第7号議案 スポーツナース制度について

議長は、帖佐理事より提案があった、スポーツナース制度を検討するためのスポーツナース制度検討部会を総務委員会の下に設置することについて承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。部会長を帖佐理事に担当頂きメンバーを選任頂くこととする。

報告事項

2024 年度中間報告

1. 2024 年度 学会員数中間報告

議長は資料に基づき 2024 年 10 月 1 日から 2025 年 4 月 15 日までの学会員数について報告した。正会員は 100 名ほどの減、准会員は微増となっている。学術集会の演題登録が進むに連れて、会員数は増加すると想定される。年会費未納者は昨年度より少なくなっている。また、日本医学会連合からのアンケート依頼への当学会からの回答資料も確認し、正会員では 40 代以上の比率が高いため、20 代・30 代の正会員を増やしていくことが必要なことを確認した。

2. 2024 年度中間収支報告

財務委員会委員長 理事 帖佐 悦男は、資料に基づき 2024 年 10 月 1 日から 2025 年 4 月 18 日までの収支について報告した。半期として支出は特に問題は無いとことが報告された。

各委員会審議・報告事項

総務委員会

学術集会運営検討部会報告

学術集会運営検討部会部会長 理事 中嶋 耕平は、当面の学術集会の参加費を決定したこと、謝金のルールについて等を検討していることを報告した。

財務委員会

委員会報告

財務委員会委員長 理事 帖佐 悦男は、委員会報告を中間収支報告として行ったことを報告した。

編集委員会

1. 学会誌投稿状況について

編集委員会委員 理事 鳥居 俊は、編集委員会委員長 理事 勝川 史憲の代理

として、オンライン投稿システム導入後の 2021 年度～2023 年度、および 2024 年度の投稿総数と査読状況について報告した。2024 年度については、例年通りの投稿数であることが報告された。

2. 第 35 回学術集会依頼原稿論文状況について

編集委員会委員 理事 鳥居 俊は、編集委員会委員長 理事 勝川 史憲の代理として、第 35 回学術集会の学会誌掲載依頼原稿寄稿状況を報告した。順調に掲載が進んでおり、残りの原稿は 3 号に掲載することが報告された。

3. 学会誌電子化にあたって、学会員へのアンケート、学会賞（優秀論文）選考基準、投稿規定の改定（案）：学会誌の投稿資格について

議長は、編集委員会委員長 理事 勝川 史憲の代理の編集委員会委員 理事 鳥居 俊より提案のあった、学会員へのアンケート、学会賞（優秀論文）選考基準、投稿規定の改定（案）：学会誌の投稿資格について承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。投稿規定の改定については、11 月の定時総会にて承認頂くこととする。

学術委員会

1. 2024 年度各部会中間報告

学術委員会委員長 理事 鳥居 俊は、健康スポーツ部会、競技スポーツ部会および期間限定の提言更新部会の中間活動報告を行った。提言更新部会の提言の更新については、11 月の次回理事会までにまとめるスケジュールにて進めていくことが報告された。

2. 公開シンポジウム開催報告

学術委員会委員長 理事 鳥居 俊は、公開シンポジウムを 4 月 5 日に順天堂大学小川講堂にて「スポーツとともに生きる！」のタイトルにて開催し、内容が充実したものとなったことを報告した。次回の公開シンポジウムは健康スポーツ部会担当で開催することも報告された。

資格審査委員会

1. 准会員審査結果

資格審査委員会委員長 理事 中嶋 耕平は、2024 年 10 月 1 日から 2025 年 4 月 18 日の期間で准会員資格審査の対象となった 40 件について報告した。全員合格であったことが報告された。

2. 准会員から正会員への資格申請 審査結果について

資格審査委員会委員長 理事 中嶋 耕平は、2月に准会員から正会員への申請が3名あったことを報告し、確認した。大阪体育大学 熊崎敏真 准会員、周南公立大学 鶴田来美 准会員、広島大学大学院 前田慶明 准会員について資格審査委員全員から承認を受けたため、理事へ意見を求めた所、満場一致で承認を得た。

研究倫理委員会

委員会報告

研究倫理委員会委員長 理事 牧田 茂は、研究倫理審査会規則ならびに研究倫理審査提出様式をホームページにアップしたこと、および今年の学術集会の演題登録時に学会での現状の発表演題のカテゴリー分類、学会での研究倫理審査の希望について調査を行っていることを報告した。学会主導の研究に対する倫理審査について、倫理審査会での開催の前に理事会での研究計画の承認が必要なため、ホームページに掲載の研究計画書を提出頂き、理事会（もしくはE理事会）で審議頂くこととする。

広報委員会

委員会報告

広報委員会委員長 理事 藤谷 博人は学会ホームページの英語版の作成準備を進めていること、メールマガジンの配信準備を進めていること、ホームページのバナーおよびトピックス欄の整理を進めていることを報告した。ホームページの英語版の作成費用について、承認された。

教育研修委員会

委員会報告

教育研修委員会委員長 理事 大森 豪は、スポーツ医学現場見学・研修マッチングプログラムの運用状況について、運用の見直しに向けて継続意向調査を行っていること、および利用拡大に向けての方策について報告した。

また、医学部におけるスポーツ医学教育の実態に関するアンケート調査の一部については、第35回学術集会のシンポジウム「日本におけるスポーツ医学教育の現状と課題」の内容について学会誌に投稿されたことが報告された。

国際委員会

委員会報告

国際委員会委員長 理事 小熊 祐子は、デンマーク DSSM、韓国 KSSM、米国 AMSSM との相互フェローシップを進めていること、第36回学術集会での国際セッションを開催することを報告した。

倫理・COI・将来構想委員会

委員会報告

倫理・COI・将来構想委員会委員長 理事 津下 一代は、日本医学会から各分科会のCOI状況についてのアンケート調査があり、回答したことを報告した。

その他の報告事項

第36回学術集会進捗状況について

理事 津下 一代は、進捗状況について報告した。依頼・指定演題のプログラムが固まり、シンポジウム25、教育研修講演13、委員会企画、ランチョンセミナー、共催シンポジウム、市民公開講座が開催されることが報告された。

第37回学術集会 第38回学術集会予定について

理事 鳥居 俊は、第37回学術集会を2026年11月7日(土)、8日(日)の2日間、軽井沢プリンスホテルにおいて開催する旨を報告した。

続いて理事 藤谷 博人は、第38回学術集会を2027年11月13日(土)、14日(日)の2日間、幕張メッセ国際会議場において開催する旨を報告した。

次回の理事会日程の件

議長は、次回の理事会を学術集会前日の11月1日に行われる旨を述べた。

以上を以て、審議すべき予定につき全て了したので、議長は閉会を宣し、17時00分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し定款第36条第2項の規定により以下に記名押印する。

2025年5月17日

一般社団法人日本臨床スポーツ医学会

理事長 山澤 文裕

代表印

議長 副理事長 赤間 高雄

⑨

監事 小松 裕

⑨